

令和8年3月2日

能美市長 井出 敏朗 様

能美市議会議長 山本 悟

職員の自死事案を踏まえた組織的検証及び
再発防止の徹底について（申し入れ）

このたび、本市職員が尊い命を失うという痛ましい事案が発生しました。市議会としても、市民の信頼のもとに行政を担う本市にとって極めて重大かつ深刻な問題と捉えています。

本件は、上司によるパワーハラスメントが背景にあったとされますが、個人の問題にとどめることなく、日頃からの組織的対策の在り方が問われているとの認識に立ち、実効性ある再発防止策を講じることが不可欠です。

よって、本市議会は、下記の事項について強く申し入れます。

記

1 組織的検証と実効性ある再発防止策の実施

本件の経緯・背景について、第三者委員会の調査報告書の提言を踏まえつつ、個別のハラスメント行為にとどまらず、組織運営等を含めた総合的かつ主体的な検証を行うこと。

その上で、明らかとなった組織的課題及び構造的要因を整理し、具体的かつ実効性ある再発防止策を速やかに策定・実施すること。

あわせて、継続的な検証・改善の仕組みを構築し、取組状況について議会及び市民に対し説明責任を果たすこと。

2 全ての職員の声を確実に受けとめる仕組みの構築

職員のメンタル不調やハラスメントの兆候を早期に把握するため、相談窓口の充実、外部相談の活用、匿名通報制度の整備等、多元的で迅速かつ実効性ある意見把握の仕組みを整備すること。

通報した職員のプライバシーを厳格に守り、不利益を被ることなく寄せられた声を適切に把握・検証し、管理職をはじめ職場全体で職員を見守り支える体制を確立すること。

3 職員の命と尊厳を守る組織づくりと人づくり（人材育成）の推進

本件を教訓とし、市長のリーダーシップのもと、職員の命と尊厳が守られる職場環境の実現に向け、組織改革と人材育成に取り組むこと。全ての職員が法令遵守、服務規律、権限の適切な行使など行政実務の基本を正しく理解し、的確な判断と行動ができるよう、定期的に研修を実施すること。

ハラスメント防止研修を体系的かつ継続的に実施してその研修効果を検証するとともに、再発防止と職員がやりがいを持って働ける職場環境の醸成に鋭意取り組むこと。

本市議会は、本件を重大な組織課題として受けとめ、再発防止及び信頼回復に向けて必要な協力を惜しまない決意であり、今後、継続的に議会として注視してまいります。市長におかれては、本申し入れの趣旨を重く受けとめ、迅速かつ誠実に対応されるよう強く求めます。

以上